

新たな都市像について

1 第4回東大和市総合計画審議会の審議結果

(1) 審議内容

令和2年2月1日に開催した第4回東大和市総合計画審議会では、都市像の候補の3案を決定していただくため、事務局から9案を提案しました。これに対し、委員の皆様から多くの意見があったため、牧瀬会長に集約していただくこととなりました。

具体的には、審議会の中で挙手によるアンケート（1人最大3票）を実施し、上位となった4案を基に、牧瀬会長が3案への絞り込みを行うこととなりました。

(2) アンケート結果の上位4案

順位 (票数)	都市像の案	考案者の意図
1位 (10票)	水と緑と笑顔が輝くまち 東大和	「第三次基本構想の共通認識」を端的に明確に表現した。キャッチフレーズは、短い方が良い。また、現行の都市像のように、文章が途中で途切れないほうが良い。
2位 (7票)	人と自然が調和した笑顔と 活気あふれるまち 東大和	まちのイメージなので、現在の都市像と大きく変える必要はないと考える。「人と自然が調和した」は、「自然が豊富」「住みやすさ」を表しているので残した。「生活文化都市」は都市のイメージがわきにくいので、活気をイメージした「笑顔」を使用した。
	ほほえみと水と緑のまち 東大和	「ほほえみ」は「楽しく、安心、安全」を表す。「水」は、「多摩湖」を表す。「緑」は「狭山丘陵」を表す。
	豊かな自然と笑顔あふれる まち 東大和	緑が多く住みやすい。人々が健康で、安心・安全なまちであることで、笑顔が増える。

(3) 委員意見

- ・「活力」や「活気」などの言葉が含まれていると良い。
- ・「笑顔」と「ほほえみ」があるが、「ほほえみ」だと優し過ぎると思う。活気をイメージすると、「笑顔」の方が良い。
- ・基本構想は20年間と長いので、夢をつなげるという意味も込めて、「夢」を付け加えると良い。
- ・「水と緑と笑顔が輝くまち」より「笑顔と水と緑が輝くまち」の方が、人の感情や活気のイメージが先に来るので良い。
- ・「水と緑と笑顔が輝くまち」より「笑顔が輝く 水と緑のまち」の方が言葉の流れが良い。

2 牧瀬会長による絞り込みの結果（3案）

牧瀬会長がアンケート結果と委員意見を踏まえて、以下の3案に絞り込みしました（委員の皆様には情報提供済みです）。

1	水と緑と笑顔が輝くまち 東大和
	<p>会長意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員から提案があった「笑顔と水と緑が輝くまち」も考えられるが、まずは水と緑があり、そして私たちも笑顔になるという流れが自然なので、上記とした。 ・同じく、委員から提案があった「笑顔が輝く 水と緑のまち」については、「水と緑のまち」が狛江市で使用されており、同市の「市の歌」にもなっているため、上記とした。
2	人と自然が調和した 笑顔と活気あふれるまち 東大和
	<p>会長意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「調和した笑顔」と解釈されないよう、「調和した」と「笑顔」の間にスペースを入れた。
3	あふれる自然と笑顔 夢つながるまち 東大和
	<p>会長意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原作「豊かな自然と笑顔あふれるまち」の「笑顔あふれる」は、多摩地域の3市で使用しているため、別表現とした。 ・委員意見を踏まえて「夢」を加えた。「夢つながる」には、人々が同じ思い（「第三次基本構想策定の共通認識」にあるような思い）を持って、まちづくりを進めるという意味を込めた。
<p>※もう一つの候補である「ほほえみと水と緑のまち」については、「ほほえみ」よりも「笑顔」の方が活気を感じられ、さらに、「水と緑のまち」が狛江市でも使用されているため、候補から除いた。</p>	

※参考 3案の中で、総合計画審議会委員が「最も良い」と回答した数

都市像の案		最も良いと回答した委員数
1	水と緑と笑顔が輝くまち 東大和	11人
2	人と自然が調和した 笑顔と活気あふれるまち 東大和	2人
3	あふれる自然と笑顔 夢つながるまち 東大和	1人

※参考 3案に関する他市の状況

3案について、他市において全く同一の都市像を掲げている市はないが、千葉県長柄町が基本構想（平成23年度～令和2年度）において、「水が輝き、緑が輝き、そして笑顔輝く、ヒューマンリゾートながら」を将来のあるべき姿と定めている。

3 庁内の審議結果及び総合計画審議会へのご提案

令和2年4月7日に開催した第12回東大和市総合計画策定本部会議（庁内会議）において、事務局から、総合計画審議会が決定した都市像案として3案を提案し、1案への絞込みについて審議しました。

この審議の結果、市長を含む本部員の全員一致の意見により、第三次基本構想（素案）で掲げる将来都市像の案について、下記のとおり決定いたしましたので、ご提案させていただきます。

総合計画審議会へ提案する 将来都市像の案	水と緑と笑顔が輝くまち 東大和
<p>（本部会議における主な意見）</p> <ul style="list-style-type: none">・総合計画審議会の委員の多くが支持している。・多くの方に憶えてもらうためには、短い言葉で、簡潔明瞭の方が良い。・市が目指す方向が、短い言葉で表されている。・これからの20年間を見据えると、この言葉が端的に東大和を表している。	

※参考 第三次基本構想策定の共通認識

東大和市は、都心部まで電車で通勤・通学できる圏内にあると同時に、職住近接も可能な利便性の高いまちである。

また、多摩湖周辺の狭山丘陵には緑があふれ、多摩地域の中でも、自然環境に恵まれた地域である。

今後20年間も、この地に住む人々が協力して豊かな自然を守り、これまで以上に住みやすいまち—例えば、子育てしやすいまち、健康で過ごせるまち、安心・安全なまち—を目指すとともに、少子高齢化と人口減少が進展する中であっても、活力あるまちづくり、持続可能なまちづくりを目指す。

※多摩地域の将来都市像

市名	構想期間	都市像
八王子市	H25～R4年	人とひと、人と自然が響き合い、みんなで幸せを紡ぐまち八王子
立川市	H27～R6年	にぎわいとやすらぎの交流都市 立川
武蔵野市	H24～R3年	一人ひとりを大切に 自治と連携のまちづくり
三鷹市	H27～R5年	「人間のあすへのまち」を求めて
青梅市	H25～R4年	みどりと清流、歴史と文化、ふれあいと活力のまち 青梅—ゆめ・うめ・おうめ—
府中市	H26～R3年	みんなで創る 笑顔あふれる 住みよいまち～みどりと文化・にぎわいのある洗練された都市を目指して～
昭島市	H23～R2年	ともにつくる 未来につなぐ 元気都市 あきしま～ 人も元気 まちも元気 緑も元気 ～
調布市	H25～R4年	みんなが笑顔でつながる・ぬくもりと輝きのまち調布
町田市	H16～R3年	・一人ひとりが尊重され、輝きをもてるまちを目指す ・地域の財を生かし、豊かさが実感できるまちを目指す ・互いの信頼の上に、ともにつくるまちを目指す
小金井市	H23～R2年	みどりが萌える・子どもが育つ・きずなを結ぶ 小金井市
小平市	H18～R2年	躍動をかたちに 進化するまち こだいら
日野市	H23～R2年	ともに創ろう 心つながる 夢のまち 日野～水とみどりを受けつごう～
東村山市	H23～R2年	人と人 人とみどりが響きあい 笑顔あふれる 東村山
国分寺市	H29～R6年	魅力あふれ ひとがつながる 文化都市国分寺
国立市	H28～R9年	学び挑戦し続けるまち ともに歩み続けるまち 培い育み続けるまち 文教都市くにたち
福生市	H22～R1年	このまちが好き 夢かなうまち 福生
狛江市	H22～R1年	私たちがつくる水と緑のまち
東大和市	H14～R3年	人と自然が調和した生活文化都市 東大和
清瀬市	H28～R7年	手をつなぎ 心をつむぐ みどりの清瀬
東久留米市	H23～R2年	“自然 つながり 活力あるまち” 東久留米
武蔵村山市	H23～R2年	人と緑が織りなす 夢ひろがる やさしいまち むさしむらやま
多摩市	H23～R12年	みんなが笑顔 いのちにぎわうまち 多摩
稲城市	H23～R2年	緑につつまれ 友愛に満ちた市民のまち 稲城 ともにつくろう 笑顔あふれる 元気なまち
羽村市	H24～R3年	ひとが輝き みんなでつくる 安心と活力のまち はむら
あきる野市	H13～R2年	人と緑の新創造都市
西東京市	H26～R5年	やさしさとふれあいの西東京に暮らし、まちを楽しむ